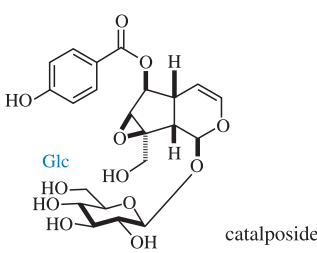


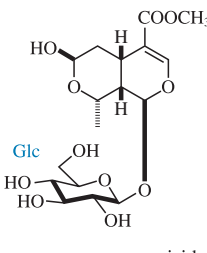
「新訂生薬学」(第8版増補第1刷)
 第十七改正日本薬局方第二追補対応・正誤情報

2019.8 (株)南江堂

第十七改正日本薬局方 第二追補に基づく情報更新をいたします。
 また、下記の通り一部内容に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	行・項目	更新前/誤	更新後/正
19	↓12行目	2019年5月には第二追補の交付が予定されている。	2019年6月には第二追補が交付され、漢方処方エキスが35品目となった。
65	ボウイ 確認試験	希酢酸抽出液にドラージェンドルフ試液を加えると、直ちにだいたい黄色の沈殿(アルカロイド)。	メタノール抽出液を試料溶液、シノメニン sinomenine を標準品として TLC. ドラージェンドルフ試液を噴霧し、乾燥後亜硝酸ナトリウム試液を噴霧するとき、標準品に等しいスポット。
73	オンジ 確認試験	(2) 水酢酸抽出液に穏やかに硫酸を加えるとき、境界面は赤褐色を呈し、上層は淡青緑色～褐色を呈する(トリテルペン)。	(2) 1-ブタノール抽出液(水酸化ナトリウム溶液で加熱後)を試料溶液として TLC. 希硫酸を噴霧し、105℃で10分間加熱するとき、赤褐色～淡褐色のスポット(テスイホリン tenuifolin)。
77	カンゾウエキス ^局	「カンゾウ」または「カンゾウ」の規格に合致する同属植物由来の根およびストロンの水抽出液にエタノールを加えろ過した後、軟エキスとしたもの。	1)「カンゾウ」または「カンゾウ」の規格に合致する同属植物由来の細切した根およびストロンを「常水」、「精製水」で冷浸、布ごししエタノールを加え放置後、ろ液を蒸発して軟エキスとしたもの。2) 適切な大きさとした「カンゾウ」または「カンゾウ」の規格に合致する同属植物由来の根およびストロンを「常水」、「精製水」を浸出剤としてエキス剤の製法により軟エキスとしたもの。
	カンゾウ粗エキス ^局	ストロンの熱水抽出液をろ過した後、乾燥したもの。	ストロンを「常水」、「精製水」を浸出剤としてエキス剤の製法により乾燥エキスとしたもの。
79	キキョウ 確認試験	(1) 起泡試験(煮沸抽出)(サポニン)。 (2) 無水酢酸抽出液に硫酸を加えるとき、境界面は赤色～赤褐色を呈し、上層は青緑色～緑色を呈する(トリテルペン)。	(1) 無水酢酸抽出液に硫酸を加えるとき、境界面は赤色～赤褐色を呈し、上層は青緑色～緑色を呈する(トリテルペン)。 (2) 1-ブタノール抽出液(炭酸ナトリウム溶液添加後)を試料溶液、プラチコジン D platycodin D を標準品として TLC. 希硫酸を噴霧し、105℃で5分間加熱するとき、標準品に等しいスポット。
81	ゴシツ 応用	利尿、婦人病(月経不順など)の改善。	利尿、鎮痛、婦人病(月経不順など)、腰痛、関節痛の改善。
92	トウキ 確認試験 (項目新設)		メタノール抽出液を試料溶液、リグスチリド ligustilide およびスコポレチン scopoletin を標準品として TLC. 風乾後、紫外線(365 nm)を照射するとき、標準品に等しい2個の青白色(蛍光)のスポット。

頁	行・項目	更新前／誤	更新後／正
95	ニンジン 類似生薬	<i>Panax quinquefolium</i> L.	<i>Panax quinquefolium</i> L.
99	ベラドンナコ ン 性状	ほとんどにおいが <u>なく</u> ，味は <u>苦い</u> 。	ほとんどにおいが <u>ない</u> 。
100	ボウフウ 純度試験 (項目新設)		<u>純度試験</u> ベウケダスム・レデボウリエルロ イデス <i>Peucedanum ledebourielloides</i> K.T.Fu を 含まない(TLC; アガシリン agacyllin, キサン タリン xanthalin [C ₂₄ H ₂₆ O ₇] のスポット)。
124	テンマ 用部	塊茎(蒸したものを)。	塊茎(湯通しまたは蒸したものを)。
130	ロートコン 性状	<u>末端</u> には 特異なおいが <u>あり</u> ，味は <u>甘く</u> ， <u>後にわずかに</u> <u>苦い</u> 。	<u>先端</u> には 特異なおいが <u>ある</u> 。
131	ロートコン 応用	ロートエキス・パパベリン・アネスタミン散 局	ロートエキス・パパベリン・アネスタミン散
140	ジギタリス 類似生薬	ジギトキシン ^局 ラナトシドC ^局	ジギトキシン ラナトシドC
147	インチンコウ 性状	頭花は直径約 <u>1-2 mm</u> で卵形～ <u>楕円形</u> 。 総苞片は <u>4 列に互重ね状</u> に並び	頭花は直径約 <u>2 mm</u> で卵形～ <u>球形</u> 。 総ほう片は <u>3-4 列に覆瓦状</u> に並び
150	キクカ 性状	(A) 径 15-40 mm. 総ほうは 3-4 列の総ほう片 から <u>なる</u> 。	(A) 径 15-40 mm. 総ほうは 3-4 列の総ほう片 から <u>なり</u> ，しばしば柄を伴う。
		(B) 径 3-10 mm. 総ほうは 3-5 列の総ほう片 からなる。	(B) 径 3-10 mm. 総ほうは <u>3-5 列の総ほう片</u> からなり，しばしば柄を伴う。
		総ほうの外表面は <u>緑褐色～褐色</u> 。	総ほうの外表面は <u>黄褐色～褐色</u> 。
		わずかに <u>苦味がある</u> 。	味は <u>わずかに苦い</u> 。
152	コウカ 確認試験	希エタノール抽出液を小ガラス容器に入れ， これにろ紙(20 mm×300 mm)の一端が器底に 達するようにつり下げ，吸い上げさせるとろ 紙の上部の大部分は淡黄色，下部は淡赤色(ヒ ドロキシサフロールイエロー hydroxysafflor yellow とカーサミン carthamin)。	含水アセトン抽出液を試料溶液として TLC。 風乾するとき赤色のスポット(カルタミン carthamin)。
160	構造式 catalposide	(下図に差し替え) 	

頁	行・項目	更新前／誤	更新後／正
167	構造式 morroniside	(下図に差し替え) 	morroniside
180	センレンシ 基原	トウセンダン <i>Melia azedarach</i> var.	トウセンダン <i>Melia azedarach</i> L. var.
185	ケツメイシ 確認反応	確認反応 微量昇華法, 昇華物は黄色, 水酸化カリウム試液で赤色(アントラキノン).	確認試験 酢酸エチル抽出液を試料溶液として TLC. 水酸化カリウム・エタノール試液を噴霧するとき, 橙色~黄褐色のスポット(アウランチオ-オブツシン aurantio-obtusin).
189	シユクシヤ 基原	<i>Amomum villosum</i> Wall. (シヨウガ科 Zingiberaceae).	<i>Amomum villosum</i> Lour. var. <i>xanthioides</i> T. L. Wu & S. J. Chen, <i>Amomum villosum</i> Lour. var. <i>villosum</i> , <i>Amomum longiligulare</i> T. L. Wu (シヨウガ科 Zingiberaceae).
194	ホミカ 性状	においはなく, 味は極めて苦く, 残留性である.	においはない.
206	センブリ 確認試験	エタノール抽出液を試料溶液, スウェルチアマリン swertiamarin を標準品として TLC. 紫外線(広域波長)を照射するとき標準品と等しい赤色のスポット.	メタノール抽出液を試料溶液, スウェルチアマリン swertiamarin を標準品として TLC. バニリン・硫酸・エタノール試液を噴霧し, 105°C で5分間加熱するとき, 標準品に等しいスポット.
235	ゴオウ 用部	病的に生じた	生じた
236	ゴオウ 定量法 (項目新設)		定量法 定量用ビリルビン bilirubin を用いた HPLC. ビリルビン 10.0% 以上を含む. なお, 本操作は光を避け, 遮光容器を用いる.
240	センソ 性状	直径約 8 cm, 厚さ約 1.5 cm, 重量 80-90 g 内外. 全体赤褐色~黒褐色でやや光沢があり, ほぼ均等な角質で堅い. 無臭で舌に触れるとき刺激性で永続性の麻痺感を与える(江蘇品は平らな円盤状で径約 2.5 cm, 厚さ約 0.5 cm). ほぼ均質な角質で堅く, 折りにくい.	径約 8 cm, 厚さ約 1.5 cm, 質量 80-90 g 内外. または両面がほぼ平らな径約 3 cm, 厚さ約 0.5 cm の円盤形で質量約 8 g. 外面は赤褐色~黒褐色でやや艶があり, ほぼ均等な角質で堅く, 折りにくい. 無臭.
253	↑ 11 行目	33 方	35 方
	↑ 9~8 行目	(「第十七改正日本薬局方」, 厚生労働省, 2016)	(厚生労働省「第十七改正日本薬局方」, 2016, 「第十七改正日本薬局方第一追補」, 2017, 「第十七改正日本薬局方第二追補」, 2019)
262	103. 呉茱萸湯	般・医・薬	般・医・薬・JP
	106. 五苓散	般・医・薬	般・医・薬・JP
	107. 柴葛外肌湯	柴葛外肌湯	柴葛解肌湯